

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 水曜日・3校時	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養特別講義 / (Colloquium)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・講演	教室 205・102・中部講堂	
対象学生(クラス等) Ef T22B	科目分類 共通基礎科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 岡市協生/Eメールアドレス: okaichi@nagasaki-u.ac.jp/研究室:医学部/TEL:849-7102 /オフィスアワー:16:00~17:30 高橋和雄/Eメールアドレス: takahasi@civil.nagasaki-u.ac.jp/研究室:工学部/TEL:819-2610/オフィスアワー:月曜日 14:30-17:30 近藤 寛/Eメールアドレス:kondo-h@nagasaki-u.ac.jp/研究室:教育学部/TEL:819-2337 /オフィスアワー:15:00~17:00 高木保昌/Eメールアドレス:takaki@nagasaki-u.ac.jp /研究室:水産学部/TEL:819-2801 /オフィスアワー:月曜 13:00-17:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。 授業方法 :特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は、「長崎」3回、「安全・安心」2回、「平和」3回、「海洋と文化」3回を講義する。 授業到達目標:特別講演により、長崎大学の理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により、学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する。身近に起こりうる災害や対処法等について学び、安全で安心できる地域社会の大切さを理解する。被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め、長崎の歴史、文化、平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 平和: 原爆被爆地にある長崎大学の学生が、平和を考える一環として原爆を取り上げる。 (1)原爆と放射線、(2)原爆の影響、(3)原子力発電と核拡散、について講義する。 原爆と放射線に関する知識を持ってもらうとともに、原子力発電にも関心を持ってもらいたい。 安心・安全: 長崎に発生した豪雨、地震、台風、火山噴火等による自然災害の概要、教訓、復興対策から、日頃からの地域や個人での災害に対する備え、助け合いの大切さを学びます。 第1回目 安全安心の総論・地震 第2回目 豪雨、火山噴火、台風等 長崎: 第1回 長崎県の地層、岩石、化石、鉱物などの分布と地史、地質災害、火山景観、及び化石・鉱物の外国への紹介について学ぶ。 第2回 地質資源として石炭産業と観光事業、陶石・砕石・硯石などの岩石の利用、及び長崎県の地質と風力発電建設について学ぶ。 第3回 長崎県の天然記念物(地質・鉱物)、石垣・石碑など建造物での石材の利用、及び街角の岩石を学ぶ。また、石碑等から外国との交流について知る。 海洋と文化:(1) 長崎の海と外国往来船 長崎の海は早くから外国との交わりが深く、色々な文化が持ち込まれた。その海・船を利用して文化交流がたらされた背景を学ぶ。 (2) 西海の海 長崎の海は、近海・東シナ海と好漁場を持ち、多数の鯨・魚が捕獲され、長崎の水産業は発展を遂げた。資源の減少・大陸棚・200海里問題等で衰退している現状を学ぶ。 (3) 練習船発祥地長崎 練習船発祥の地、長崎を通して教育練習船の歴史背景について学ぶ。			
第1回	4月15日	平 和	岡市協生 (医学部)
第2回	4月22日	特別講演 I	片峰 茂 (学 長)
第3回	5月13日	平 和	岡市協生 (医学部)
第4回	5月20日	平 和	岡市協生 (医学部)
第5回	5月27日	安全・安心	高橋和雄(工学部)
第6回	6月 3日	安全・安心	高橋和雄(工学部)
第7回	6月10日	長 崎	近藤 寛 (教育学部)
第8回	6月17日	長 崎	近藤 寛 (教育学部)
第9回	6月24日	長 崎	近藤 寛 (教育学部)
第10回	7月 1日	特別講演 II	水田善次郎(名誉教授)
第11回	7月 8日	特別講演 III	古川 淳(名誉教授)
第12回	7月15日	海洋と文化	高木保昌(水産学部)
第13回	7月22日	海洋と文化	高木保昌 (水産学部)
第14回	7月29日	海洋と文化	高木保昌 (水産学部)
第15回	8月 5日	特別講演 IV	橋本健夫 (教学担当理事)

キーワード	<p>平和:原爆、放射線、原子力発電</p> <p>安全・安心:自然災害、減災社会、公助・自助</p> <p>長崎:地質、石材、天然記念物、資源</p> <p>海洋と文化:海洋、船、水産</p>
教科書・教材・参考書	<p>平和:参考書:「原爆災害 ヒロシマ・ナガサキ」 岩波現代文庫</p> <p>安全・安心:印刷物を 配布する。</p> <p>長崎:教材として資料を配布して説明する。</p> <p>海洋と文化: 教科書は使用しない、講義には適時資料を配付する。(参考書:長崎県の歴史)</p>
成績評価の方法・基準等	<p>長崎24点、安全・安心16点、平和24点、海洋と文化24点、特別講演12点の配点とする。</p> <p>長崎:毎回の授業レポート、ビデオ視聴のレポート、及び出席状況で評価する。</p> <p>安全・安心:レポート16点</p> <p>平和:毎回の小レポート、各8点</p> <p>海洋と文化:レポート(毎回、3回8点)</p>
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ /学習・教育目標	
備考(準備学習等)	